

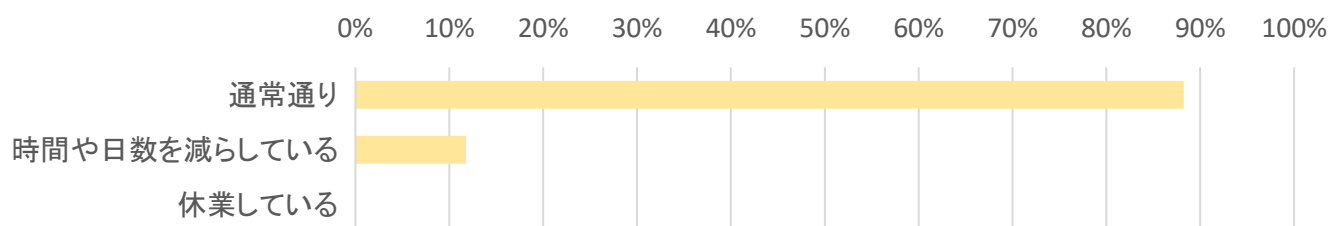
新型コロナウイルス感染症による業務への影響について

(訪問ヘルパー)

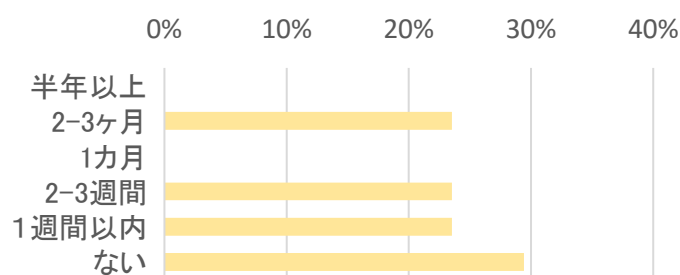
■調査日: 令和2年5月上旬

■回答数:
旭区内の訪問介護事業所に勤めるヘルパー 17名

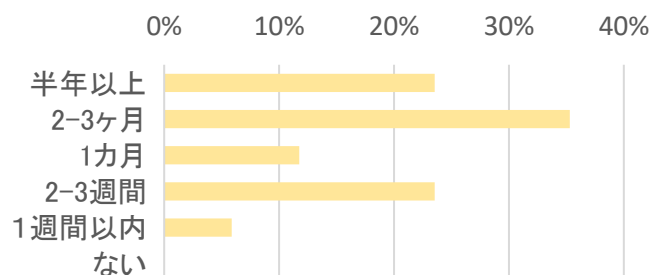
通常通りの業務が出来ていますか



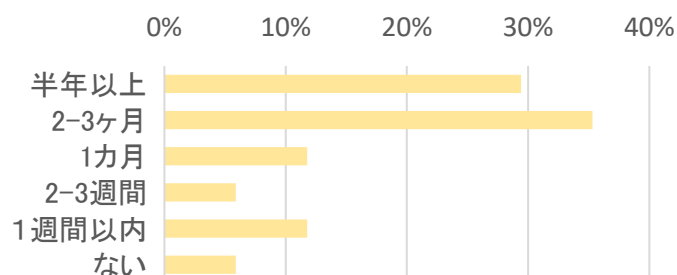
マスクの保有状況(残り)



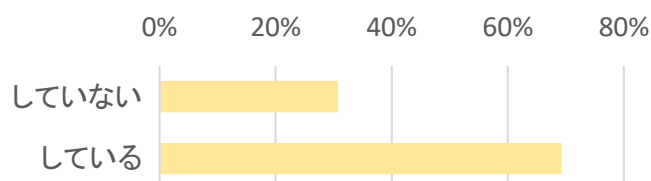
手指消毒用アルコール保有状況(残り)



介護用手袋の保有状況(残り)



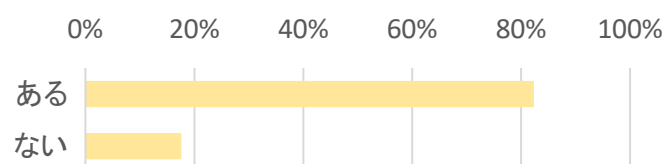
マスクを洗浄・消毒するなどして再利用



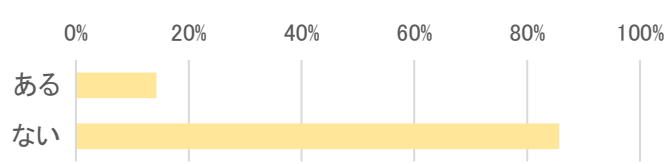
- ・洗えるマスクも購入
- ・手作りマスク
- ・紙マスクも何度か洗って消毒剤を噴霧して再利用
- ・抗菌の布マスク購入し、各ヘルパーに配布

2月以降、国・自治体・団体等から「マスク」の提供や寄付を受けたことがありますか

(マスク)

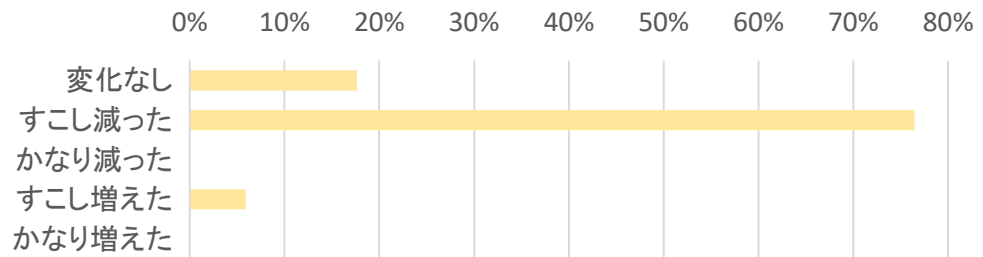


(消毒液)



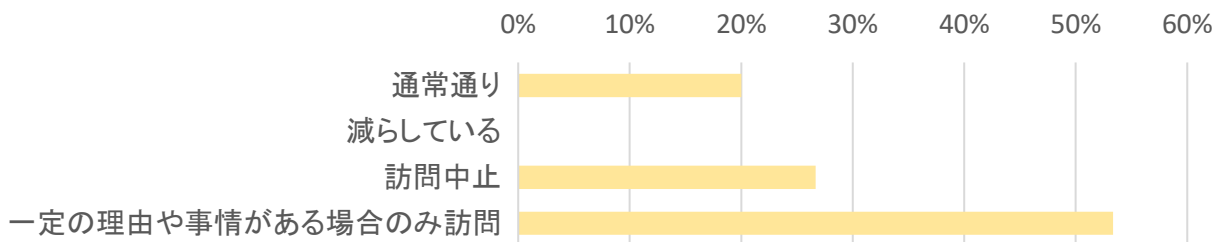
(マスク) ・厚労省/国から(3-4月)

新型コロナウイルス感染症の影響で訪問介護の提供量に変化がありましたか



- ・家族が在宅ワークになり、家族対応となった
- ・デイサービスを休む利用者が増え、送り迎えのサービスが減少
- ・利用者のキャンセルが増加
- ・利用者が微熱でもヘルパーに気を使いサービスが中止される
- ・複数デイ利用の方は自粛をお願いされ、デイへ行けなくなり、訪問介護での清拭対応となった(少し増えた)

発熱のある利用者にはどのように対応していますか。対応方法についてもお書きください。

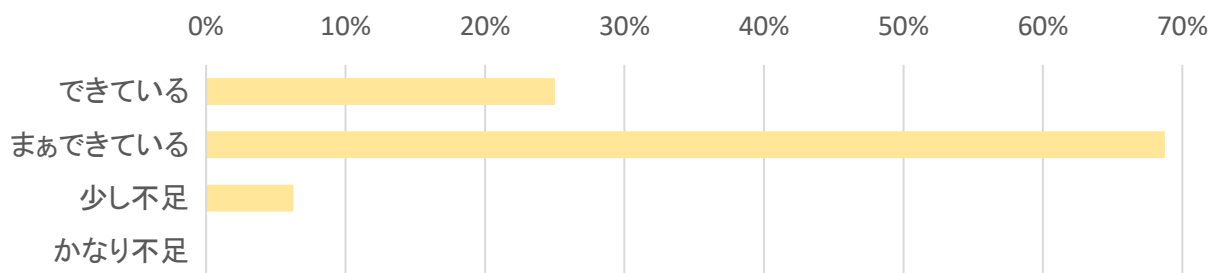


- ・家族様にお願できない場合、常勤スタッフ2名が簡易防具装着し短時間で必要最小限のサービス実施
- ・マスク、手袋、フェイスシールド、防護服を着用
- ・マスクを着用し、発熱の状況を主治医へ報告
- ・ケアマネさんに連絡を入れ、その都度対応し、理由がわかれば再開、予防着をノコなどの時に配布している
- ・家族・訪問看護に連絡し、熱が下がり主治医から大丈夫と言われたら再訪問になる

ご利用者に、新型コロナウイルス感染(感染の疑い)がおられる場合、どのように対応されていますか。おられる場合は現在の対応方法を、現在おられない場合は、予定している対応方法をお答えください。

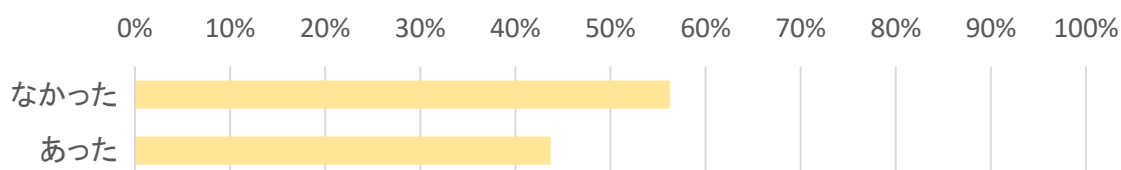
- ・毎日熱を測って訪看に報告。お互いマスク使用して会話少なく。空気の入替えを小刻みに、できるだけ時短
- ・寝たきり、トイレ介助が必要な利用者様には、最小限回数を減らして、決まったスタッフが訪問
- ・サービス中止で事前に案内の手紙は入れている
- ・訪問して体温を測っていただき、37.5℃ある場合はケア中止(ご家族対応)。家族に説明している
- ・主治医と相談し、訪問を中止するか、1日の最後の時間に変更する
- ・寝たきり、トイレ介助が必要な利用者様には、最小限回数を減らし、決まったスタッフが訪問
- ・訪問中止
- ・新型コロナとわかった時点で会社上司の指示を受けます

現在の時点で、訪問介護員の提供ができる人員確保ができていますか？

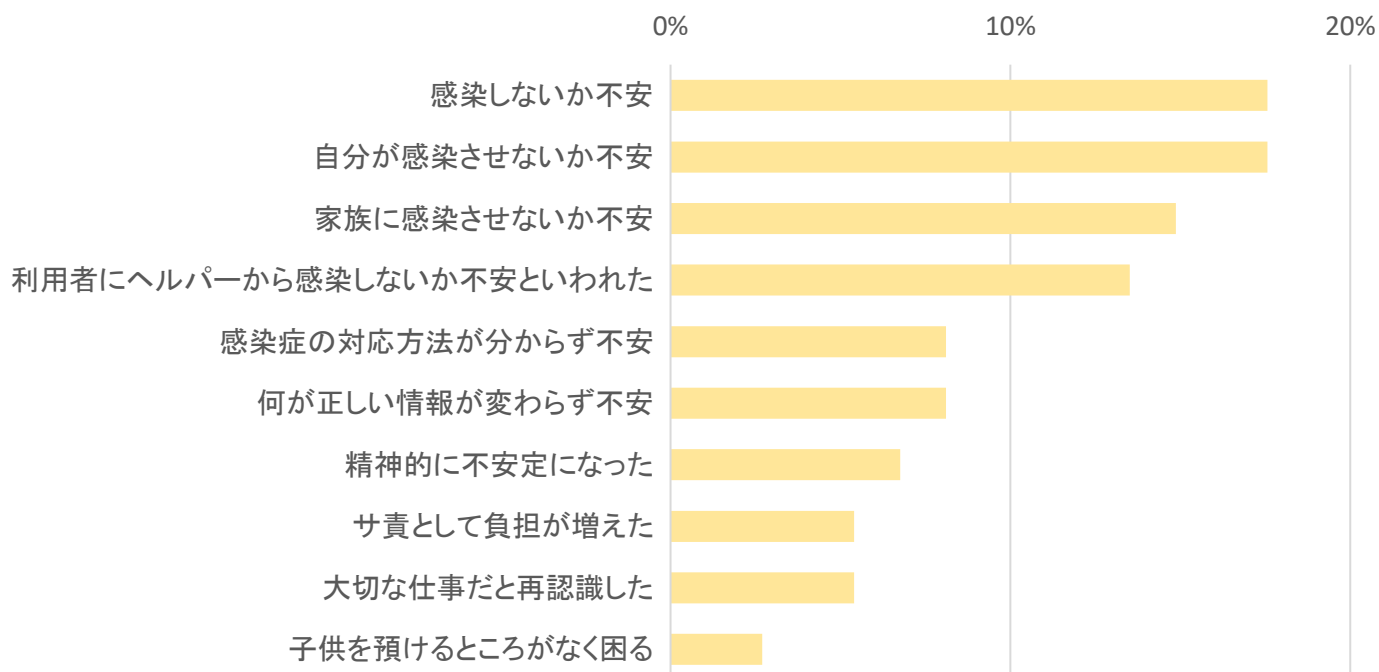


- ・担当スタッフ以外でも対応できる体制を整えている
- ・登録ヘルパーもスタッフも意識が高く、体調管理は自己にて行ってくれているので今のところ問題ない
- ・コロナ収束まで休み希望者1名あり

利用者(家族)から新型コロナウイルス感染防止のため、訪問中止してほしいと言われたことがありますか。



新型コロナウイルス感染症をきっかけとした、気持ちや環境の変化がありましたか。(複数選択可)



現在、業務で困っていること、その他意見がありましたら何でもお書きください

- ・訪問ヘルパーは利用者と濃厚接触者になる可能性が高い割に医療従事者ほどのいろいろな支援はない。
- ・ケアマネさん達から、当たり前の様に通院依頼があったり、密集しているスーパーへ買物へ行ったりしなければならない。ハンドソープ、マスク、キッチンペーパー、トイレtpペーパー等、利用者からの依頼があれば何回も回らなければならない。サービス時間外に見つけたお一人様1個のトイレtpペーパーを購入して、利用者へ回したこともある。

- ・マスク、アルコール、手洗い洗剤、トイレトペーパー品薄の中、利用者のためスーパー、薬局回ってくることも
- ・私たちは緊急事態宣言の中、変わらず活動しています。買物にも行きます。接触者数8割減には皆無の状況
- ・熱があり、デイサービスやショートステイから帰されてしまう方のところへ訪問します。全くの拒否はできません。そんな時の対応やマニュアルは各事業所ごと、ケアマネージャーさんにより違うようです。何件も登録しているヘルパーは混乱します。
- ・訪問ヘルパーも高齢化が進んでおり、持病を持つ方もいる。重症化リスクが高い中での訪問は本当に怖い
- ・現場のヘルパーもとても頑張ってくれていること、ご承知いただけるとサ責としては嬉しいのですが。。
- ・利用者の中には、外出時に危機感なく、マスクせず、帰宅時手洗いせずの方がいます。訪問毎に必要なことはお伝えさせて頂いていますが。。
- ・私たちはマスク着用、手指消毒は万全に行っているが、訪問先の利用者様はほとんどの人がマスクを着けていない状態です。声掛けしてつけて頂くようお願いしているが徹底されていない。旭区からの通達や医師会からの願いで文章が配布されれば意識も高まると思うので、ぜひお願いしたい。
- ・大阪市や旭区からの、対応についての具体的な指示を頂けるとありがたいです
- ・行政へのお願いです。旭区内での感染者数や発見された場所などを情報公開して欲しい。情報公開が無いとかえって、噂や憶測がとびかい、風評被害につながったり、過度な不安を巻き起こします
- ・熱発時等にどの医療機関が対応してくれるのかが分からない
- ・当初は不安でしたが、会社でマスク、アルコールビニールエプロン等準備してもらい、徐々に不安は軽減している
- ・通院介助は減らず実施。認知症の方は電話での対応は難しいと言われます。院内付き添い時間にヘルパーは不安を感じています。
- ・他事業所の感染対策や対応方法を知りたい。ヘルパー連絡会や研修会等開催が困難なため情報収集できない
- ・毎日、訪問前にサ責が利用者様にTELLし、発熱、体調、お伺いしているが、基準がそれで大丈夫なのか心配(後から感染が分かった場合など)
- ・利用者がデイへ行っている方がデイで感染し症状がでていないのではないかと疑ってしまう
- ・訪問する前に消毒し、マスク着用しているが、それだけでいいのか不安
- ・ヘルパーが感染してしまって症状がでなく、次の利用者を訪問しないか不安。コロナウイルスは症状がでない方もいるとの事なので
- ・感染拡大を防止する為にも、感染疑いのある利用者を早期に把握する必要がある、日々、利用者の健康状態や変化を知り、体調確認を行うことが大切。 利用者に感染症が疑われる症状が出た時は、主治医や保健所に速やかに報告
- ・今のところおりませんが、施設側からは、感染者が出たら訪問中止と言われており、感染されたご利用者様には心苦しい思いになるだろうと思います。
- ・自分が感染していると思った対応を、ヘルパーさん達に指導しています。マスク着用の仕方、消毒の仕方、体調の管理など、しっかりと自分が行い指導していきたいと思います。